ひびき通信

平成 27 年 8 月版

勤続五年ご苦労さま　松井職員に感謝状

グループホーム響の松井あや職員が五年勤続となり、感謝状が贈られました＝**写真**。松井職員は平成二十二年七月一日に非常勤職員として入社。平成二十五年六月には常勤職員に登用されました。いつも笑顔でご利用者のことを一番に考えて仕事に取り組む中堅職員となっています。表彰式ではセンター長から感謝状と記念品が贈られました。

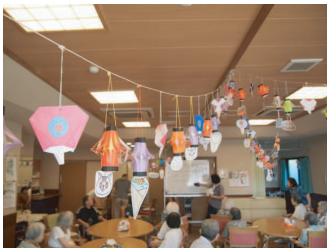
暑さを吹き飛ばせ!!

ひびきの夏祭り

デイサービス響でこのほど、「暑さを吹き飛ばせ！ひびきの夏祭り」が開催され、参加したご利用者たちは、スイカ割大会や和菓子をゲットする輪投げ大会をはじめ、たこ焼きやかき氷などの屋台に、夏祭りの風情を楽しんでいました。

▲たこ焼きとかき氷の屋台が登場

◀



▶手作りの提灯かざり

▶輪投げに夢中

輪投げで駄菓子をゲット

スイカ割りに歓声　たこ焼きに舌鼓

夏祭り最初のイベントとなった輪投げ大会では、お目当ての駄菓子をゲットしようと、真剣な眼差しで輪投げに挑戦。手に入れた金平糖や麩菓子、ラムネキャンディーに思わず笑顔になっていました。

スイカ割大会に登場した大玉のスイカは、ご利用者の出身地でもある新潟県小千谷から取り寄せたもの。男性職員が次々に失敗する中、最後は女性職員が見事に一刀両断。このあと、シャキシャキのスイカにかぶりついていました。屋台では、たこ焼きやかき氷も振舞われ、ご利用者たちは、しばし夏の暑さを忘れ、童心にかえって祭りを楽しんでいました。

▶最大のイベントスイカ割大会。男性職員がことごとく失敗する中、女性職員が見事に真っ二つ

利用料について意見を交換

グループホーム響で運営推進会議

グループホーム響の運営推進会議がこのほど当センターで開催されました。この会議は、ご家族をはじめ、地域の方々や行政の担当者とサービスに関する情報を共有し、改善に結び付けていくのを目的に隔月で開催されています。

この日の会議には、川崎市の担当者をはじめご家族の方など十名が参加。管理者から最近の状況報告があったあと、八月一日から改定された利用者負担分について、一割負担から二割負担となる条件などについて意見を交換しました。

懐かしい曲

身障者施設「いぬくら」

デイサービス響にこのほど、宮前区の障害者福祉施設で暮らす方々が慰問にやってきました＝**写真**。訪れたのは重度身体障害者施設「いぬくら」の音楽隊のメンバー三人。ご利用者たちは、全盲のピアノ伴奏者の演奏に合わせて、「あこがれのハワイ航路」「青い山脈」「上を向いて歩こう」「ふるさと」「知床旅情」「おぼろ月夜」など九曲を熱唱しました。

"音楽隊"が演奏慰問

9曲を熱唱

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。
発行日：2015 年 8 月 1 日　発行者：岸　忠宏
発行所：日本ケア創造株式会社　住　所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ
デイサービス響　居宅介護支援事業所 響
グループホーム響　宅老所「ほっと生田」